

平成19年度 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

平成20年5月30日
 明治安田生命保険相互会社

当資料は、金融安定化フォーラム(FSF)の報告を踏まえ、平成19年度決算における証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況について開示するものです。

なお、表中の項目については以下のように定義しています。

- ・含み損益は、時価から帳簿価額を差し引いたものです。
- ・実現損益は、売却損益と減損額の合計です(利息及び配当金等収入は含めていません)。

1. 投資状況

(1) 特別目的事業体(SPEs)一般

平成19年度末での保有、平成19年度での実現損益はありません。

(2) 債務担保証券(CDO)

(単位:億円)

		時価	含み損益	実現損益
債務担保証券(CDO)(注)		9	—	—
ABS— CDO	うちサブプライム・Alt-A	—	—	—
		9	—	—
その他	シニア	9	—	—
	メザニン	—	—	—
	エクイティ	—	—	—

- (注) 1. 国内企業の信用力を裏付けとする1銘柄のCDOで、信用格付けはA格です。
 2. 当該銘柄は、平成20年4月に額面にて全額償還済みです。

(3) その他のサブプライム・Alt-Aエクスポージャー

平成19年度末での保有、平成19年度での実現損益はありません。

(4) 商業用不動産担保証券(CMBS)

(単位:億円)

	時価	(平成19年3月末)	
		含み損益	実現損益
商業用不動産担保証券(CMBS)(注)	304	417	0
日本	304	417	0

(注) 裏付けとなる不動産の用途別内訳は、オフィス用不動産93%、商業用施設7%(いずれも帳簿価額ベース)です。

(5) レバレッジド・ファイナンス

平成19年度末での保有、平成19年度での実現損益はありません。

(6) その他の証券化商品等

(単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益
①RMBS	4,003	18	△79
日本	2,889	67	—
米国 (注1)	1,114	△49	△79
②ヘッジファンド (注2)	1,071	△196	△33
③クレジットリンク債・ローン	776	16	—
④その他(その他の仕組債等を含む)	1,528	1	△0

(注1) 実現損益△79億円のうち△78億円、含み損益△49億円のうち△63億円は為替要因です。

(注2) ヘッジファンドを通じた間接的なサブプライムローン関連商品のエクスポージャーは、ヘッジファンドの残高の1%未満です。実現損益△33億円のうち△20億円、含み損益△196億円のうち△166億円は為替要因です。

2. 証券化商品等全体の内訳

平成19年度における、サブプライムローン関連商品での損失はありません。また、平成19年度末におけるサブプライムローン関連商品への直接投資はありません。
証券化商品等全体への投資状況は以下のとおりです。

(単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益(注)
証券化商品等全体	7,693	△160	△113
CDO	9	—	—
CMBS	304	0	—
RMBS	4,003	18	△79
ヘッジファンド	1,071	△196	△33
クレジットリンク債・ローン	776	16	—
その他(その他の仕組債等を含む)	1,528	1	△0

(注)うち為替要因に関する実現損は△99億円です。

3. その他

平成19年度末における、明治安田生命でのサブプライムローン関連商品の保有はありませんが海外の連結子会社(生命保険会社)1社において、サブプライムローンを裏付資産とした資産担保証券への投資があります。

金額は、平成19年度末の時価、含み損益、平成19年度における実現損益とも1億円未満です。

【用語について】	
CDO	金銭債権(貸付金、債券等)を担保とする資産担保証券
CMBS	商業用不動産担保ローンを裏付資産とする資産担保証券
RMBS	住宅ローンを裏付資産とする資産担保証券
クレジットリンク債	債券に別の信用リスクを結びつけた証券
クレジットリンクローン	ローンに別の信用リスクを結びつけた証券化商品

以上